

2025年度 連続講座：ご案内

第2回

とき 7月13日（日） 午後1時半

ところ サンフォルテ 305号室

スピーカー 平井誠一さん

Part 1

自立生活支援センターを 開設して

平井誠一さん 紹介

1985年、障害運動の拠点や障害者の就労の場として「富山生きる場センター」を開設。2000年には、障害者解放を地域でさらに積極的に進めるために、「自立生活支援センター富山」を開設。

今回、平井さんには、「自立生活支援センター富山」開設までの歩みや、開設後の活動について話してもらいます。

ぜひご参加ください。

高齢者生存組合

連続講座：「バトンをつなぐ ——未来につなぎたいもの」

戦後 80 年となる今年、2025 年。様々な分野で「記憶」、「記録」、「経験」、「遺物」、「遺産」などを次世代が「忘れない・つなぐ・のこす」ことが問われているように思います。

高齢者にとって、「次世代に、なにをどうつなぐのか？」は大きな課題です。

2025 年度、「高齢者生存組合」では、「**バトンをつなぐ—未来につなぎたいもの**」とは何かを明らかにすることをテーマにします。

「手渡すもの、手渡したいもの、手渡せないもの」を明確にしながら、さらに「社会を変える」運動について、あらためて検証したいと考えています。

ぜひご参加ください。

バトンをつなぐー未来につなぎたいもの

2000年に、障害者解放を積極的に進めるために、「自立生活支援センター富山」を開設した平井誠一さん、2011年に、アイ・クリニックを開院して、ACT（包括型地域生活支援プログラム）地域精神医療を推進した吉本博昭さん、1993年に、誰もが自宅で最後まで暮らせるように、富山型ディサービス「このゆびとーまれ」を開設した惣万佳代子さんをお招きして、活動分野の違いを超えて、『バトンをつなぐ』ということについて語ってまいります。

スケジュール

- | | | | |
|----|-----------|-----------------|-------|
| 1回 | 6月15日(日) | 吉本博昭さん | 306号室 |
| | | ACT地域精神医療を推進して | |
| 2回 | 7月13日(日) | 平井誠一さん Part1 | 305号室 |
| | | 自立生活支援センターを開設して | |
| 3回 | 9月14日(日) | 平井誠一さん Part2 | 305号室 |
| | | 若い人たちに伝えたいこと | |
| 4回 | 10月12日(日) | 惣万佳代子さん | 305号室 |
| | | 若い人たちに伝えたいこと | |
| 5回 | 11月16日(日) | | 305号室 |

再び話し手のみなさんに集まってもらい
「バトンをつなぐー未来につなぎたいもの」
について語りあいます。

場所：サンフォルテ 富山市湊入船町6-7

時間：午後1時半～4時 参加費+資料代 1000円

「すべての生の無条件の肯定」を

2018 年開催の「米騒動 100 年プロジェクト」から産み出された「高齢者生存組合」は、高齢者が抱えている〈生きがたさ〉からの解放を求め、相互の結びあいの力で社会と向き合う生存組合です。

1970 年、アメリカでグレイパンサーを名乗る運動体がひろがりました。

全米で 6 万人、130 のネットワークにひろがったグレイパンサーは、エイジズム(年齢差別)からの解放をかけた、社会を変えようとしてきました。彼・彼女らは「老人としての誇り」を高らかに謳い、「年をとることに価値を見いだす社会」を目指しました。彼・彼女らの活動や理念は、今のこの困難な時代だからこそ、あらためて見直すべきことだと考えています。

高齢者生存組合 代表 埴野謙二

連絡先 〒930-0009 富山市神通町 3 - 5 - 3
TEL 090-5174-5877 (榎谷)
URL : <https://net-jammers.net>
E-mail : jammers@net-jammers.net